

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和2年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である

学校名	久保泉小学校
-----	--------

1 前年度 評価結果の概要	保護者アンケート・児童アンケートともに本校教育活動に対しては、今年度も概ね良好な評価だった。学力向上の面では、全国・県の学力調査は課題が多い結果だったが、点数に表れない部分(学習に取り組む姿勢、学習への意欲等)では伸びている点もあり成果としてあげられ。様々な研修の機会・場を設けて教師一人一人の指導力を向上させ、児童が目的意識をもって学習や生活に向き合うことができるようになっていきたい。小規模校の特徴を生かして連絡・連携を密に目標達成に向けて全員の力を結集して取り組みたい。また、学校と家庭・地域の結びつきもこれまで以上に大切にし、地域全体で子どもたちを育てる機運をより高めていきたい。
------------------	--

2 学校教育目標	夢をもち進んで学ぶ 心やさしい子どもの育成 かしこい子(基礎学力、問題解決力、論理的思考力) やさしい子(思いやり、規範意識、郷土愛) たくましい子(ねばり強さ、礼儀・あいさつ、心身の健康)
----------	--

3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「雄飛学園「めざす15歳の姿」」を目指して、雄飛学園教育を推進する。</li> <li>◆学力向上を図る</li> <li>◆命と人権教育を推進する。</li> <li>◆「雄飛学園メソッド」に基づいた生活習慣や規律ある行動の定着をめざす。</li> <li>◆子どもへのまなざし運動と市民性を育む地域と連携した教育を推進する。</li> </ul>
------------	---

4 重点取組内容・成果指標 中間評価 5 最終評価

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
	取組内容	成果指標(数値目標)								
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・教職員間でマイプランを共有するとともに、校内研修等により取組の促進を図る。							
	○算数科における思考力・表現力を育む授業改善(学び合いを効果的に取り入れた授業実践)	○「友達と学び合う(話し合う)活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」と回答した児童80%以上 ○市販テスト等を観点別に分析し、正答率が昨年の正答率を上回る。	・学習の見通しを持たせるために単元計画・1単位時間の流れ児童に示す。 ・授業に「学び合う(話し合う)活動」を設定し、めあてに合わせて、「何を」「どのように話し合うか」を児童に明確に示す。 ・図、式、言葉を関連させて自分の考えを説明する学習を重視する。 ・学びを支える基礎的な知識・技能の定着を図る。							
	◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	○自分の身近な夢や目標に向かって、努力することができていると思う」と回答した児童80%以上	・道徳や特別活動(学級活動(3))、総合的な学習の時間で、「自分の夢や生き方」についての学習を充実させる。 ・体験活動では、児童に活動の見通しを持たせるとともに、学びの振り返りを行う。							
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○人権・道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童生徒80%以上 ○「おもいやり・ほかほか言葉」児童の意識調査で85%以上	・人権・同和教育の視点に立った授業を実施する。 ・道徳科の授業づくり、授業実践に関する校内研修を実施する。 ・全校単位や学年グループ単位で参加体験型の人権教室・集会を年間7回実施する。							
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていると回答した教員90%以上	・いじめの対応マニュアルを基に職員研修を実施し、体制を共通理解する。 ・なかよしアンケートを実施し、結果を全職員で共有し、いじめの早期発見と児童の実態把握に努める。							
	○豊かな心を育む読書活動の推進	○月の個人の読書目標を上回る児童が、80%以上	・職員による本の紹介など、児童を読書へ誘う取組を行う。 ・おはなしボランティアによる読み聞かせを行う。							
●健康・体づくり	●望ましい生活習慣や規律ある行動の定着	○児童へのアンケートで3つの「あ」を意識して生活できたと回答した児童が90%以上	・3つの「あ」(あいさつ・あんぜん・ありがとう)を意識した生活の月目標を設定。毎月の職員による話で、意識付ける。							
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外勤務時間の上限を遵守する。	・三部会で業務の進み具合について確認し、協力体制をつくる。 ・定時退勤日を毎週金曜日に設定する。 ・退勤の目標時刻を確認し合い、時間を意識して働くことができるようにする。							

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目

評価項目	重点取組		具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
	重点取組内容	成果指標(数値目標)		進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○特別支援教育の充実	○教員の専門性と意識の向上	○特別支援に関する専門性が向上した教員90%以上	・児童支援会議を毎月実施し、共通理解を図る。 ・特別支援教育の職員研修を計画的に実施し、職員一人一人の専門的理解を深める。							
○地域連携	○まなざし運動と市民性を育む教育の充実	○「地域行事への参加」児童の意識調査で90%以上 ○地域の人、もの、ことへの興味を持つ児童が90%以上	・地域のまなざし運動と連携し、市民性を育む教育を推進することによって、市民の一員としての意識の向上をめざす。 ・公民館や地域教育コーディネーターとの連携を図る。							

●...県共通 ○...学校独自 ◎...志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	
----------------	--